桜もほころぶ愛らしさ

曳山まつり

9日 線香番

子ども歌舞伎が所定の時間内に収まるよう計時する。時計のない時代、線香が燃え尽きるまでの時間を目安とした。

9～12日 裸参り

役者の健康と祭典の成功、良いくじが引けることを祈願する。八幡宮の井戸に入り身を清める姿は圧巻。

13日 くじ取りの儀

祭礼当日の※狂言奉納の順番を決める儀式。神前は「ヨイサヨイサ」の掛け声で熱気に包まれる。

14日 夕渡り

八幡宮から自町まで役者たちが渡りを行う。見得を切る役者たちに観客が拍手喝采！

15日 朝渡り

夜明け前からの仕度を終えた役者たちが八幡宮へ。祭典の成功を祈る。

太刀渡り

これが祭りの原点。長刀組の若衆が力士に、子どもたちが武士に扮し、八幡宮まで渡る。

翁招き

長刀組の長老が「最初長刀組」の札がついた竹棹を神前に向かって3回振り、一番山に差し出す。※狂言奉納はここから始まる。

公家奴振り

猩々丸の朝渡りの前を練り歩く姿は、まるで大名行列の絵巻を見ているよう。県の重要文化財に指定されている。

※狂言奉納…曳山の上で子ども歌舞伎を演じること。

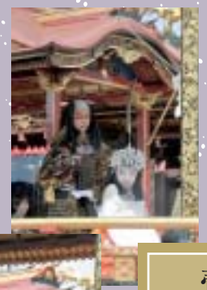
曳山まつりを今年も応援！

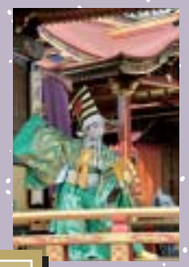
ながはま御坊表参道商店街の皆さんによって設置された約千本のチューリップが表参道を鮮やかに彩りました。

いっぷく処 長浜西中茶屋

「伝統文化学習」として「茶道」を選択していた西中3年生がお手前を披露しました。

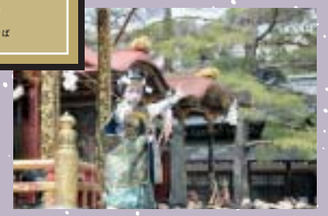
三番叟

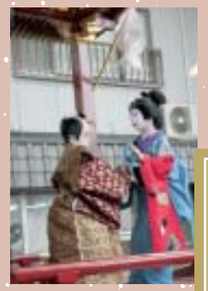




壱番山 高砂山

一谷嫩軍記　須磨浦段　組討ちの場





弐番山 猩々丸

御所桜堀川夜討　弁慶上使の段

四番山 鳳凰山

奥州安達原　袖萩祭文

参番山 壽山

小磯原雪柵　お静と礼三郎